

キャリア教育等連携推進会議について

1 概要

第一分科の耳塚分科会長より、「富山県としての取組みとして、連携のための県民会議を設置する必要がある」とのご意見あり

県内の関係機関（学校等、PTA、地域・社会、産業界・経済団体等）及び県により、キャリア教育等の推進を図る「キャリア教育等連携推進会議」を設置する。

当該会議では、「人生100年時代ひとづくり構想会議（第一分科会）」の提言に基づく各事業の成果や課題を検証し、その解決や質の向上のための具体的な取組み方策について検討する。

第一分科の望月専門委員より、「キャリア教育の取組みは、その目的を明確にし、成果を検証するなどして質の向上を図ることが大切」とのご意見あり

■想定する連携推進会議構成機関等

学校等	小学校長会、中学校長会、高等学校長協会、私立中学高等学校協会、富山県私立幼稚園・認定こども園協会、富山県保育連絡協議会
PTA	富山県PTA連合会、富山県高等学校PTA連合会
地域・社会	富山県公民館連合会
産業界・経済団体	富山県産業教育振興連絡協議会、富山経済同友会、富山県中小企業家同友会
有識者	教育全般、教育行政、キャリア教育、ライフプラン教育、ふるさと教育の専門家（大学教授等）
行政機関	県（教育委員会） 他

○ 会議開催回数： 年2回（予定）

○ 委員数： 20名程度

2 趣旨

人生100年時代の到来を見据え、職業人生の長期化やライフステージあるいは外部環境の変化に対応できるよう、自分自身で自らの人生を主体的に切り拓いていくことができる人材の育成が求められており、そのためには幼児、児童、生徒に対するキャリア教育、ライフプラン教育、ふるさと教育等の更なる充実が必要である。

一方、課題として、例えば職場体験活動では生徒が希望する職場を体験できない場合があること、また、教員の多忙化が問題となっており、その解消のためには外部人材の更なる活用が必要であること、さらに、各事業の質的向上が求められている。

このため、県内の関係機関等による連携会議を設置し、これらの課題について協議することにより、関係機関が連携して富山県における人生100年時代のひとづくりを進めていく。